

北海道における i-Construction の導入事例

北海道横断自動車道湯波内西改良工事 (北海道釧路市)

- 当該工事の施工者(白崎建設(株))は、若手の人材育成に積極的に取り組んでおり、オペレーターの技術支援につながるICT土工を釧路管内で最初に導入。
- マスコミからの関心も高く、道内及び全国テレビ放送で紹介された。

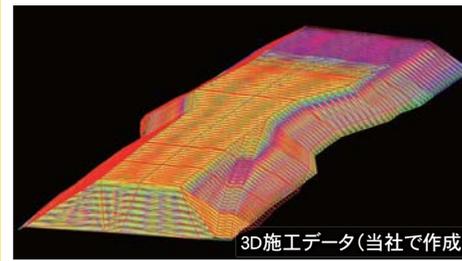


現場の声(白崎建設(株))

- 工期:「UAV使用により起工測量の日数が約10日から1日に短縮できた」
- 精度:「日当たりの切盛土量を把握でき、精度の向上が図れます」
- 施工:「ICT建機の活用で経験の浅いオペレーターでも高精度に仕上げることができます」
- 品質:「丁張が不要となるとともに、均一な施工が可能となります」
- 安全:「仕上げ作業時の、手元作業員が不要となり、重機との接触の危険性が大幅に軽減されます」

【全国第1号】道央圏連絡道路 泉郷改良工事 (北海道千歳市)

- 現地着手(UAV測量)1号工事。
参考 測量開始:5/10(※全国で第1号) ICT建機による土工開始:6/3
- 当該工事の施工者(砂子組)は、今年度より「ICT施工推進室」を立ち上げ、人材育成に取り組んでいます。



現場の声(砂子組)

- 工期:「UAVによる測量やICT建機の使用により、作業期間が 14日間短縮し約20%効率化」
- 精度:「多数のデータを取得できるため土量算出等の精度が向上した」
- 施工:「ICT建機の活用で経験の浅いオペレーターでも高精度に仕上げることができる。」
- 品質:「丁張が不要となるとともに、均一な施工が可能」
- 安全:「手元作業員の配置が不要となり、重機との接触の危険性が大幅に軽減された」

第31回 北海道建青会全道会員大会

大会テーマ『新化』～若者が未来を描ける建設業へ！～

平成28年9月16日、北海道建青会の第31回全道会員大会が、宗谷建設青年会主管のもと、北海道稚内市で開催された。

『新化』～若者が未来を描ける建設業へ！～をテーマにした今大会では、記念事業として、北海道大学 准教授 岸邦宏氏による「日本最北端の地にて地方のあり方を考える」ノンフィクションライター 北室かず子氏による「学校では教えない、建設業の仰天人物伝」-北海道をつくってきた「公」の心と題して講演を開催。

その後のパネルディスカッションでは「若者が未来を描ける建設業へ」をテーマに、宗谷管内の全高校で事前に実施した、高校生・教師・保護者へのアンケート結果や出前講座、座談会の様子を収めた映像を見ながら、若い担い手が建設業に入ってくるにはどうしたら良いか、活発な意見交換がされた。



担い手確保に向けた取組み



高校への出前講座



保護者との座談会



基調講演



演題「日本最北端の地にて地方のあり方を考える」

講師 岸 邦 宏 様

(北海道大学大学院工学研究院 准教授)

演題「学校では教えない、建設業の仰天人物伝」
-北海道をつくってきた「公」の心

講師 北 室 かず子 様

(ノンフィクションライター、編集者)



パネルディスカッション テーマ「若者が未来を描ける建設業へ」



コーディネーター

荒木 正 芳 様

株式会社 北海道建設新聞社
代表取締役社長



パネリスト

斎藤 敬 介 様

北海道建青会 会長
宗谷建設青年会 会長
株式会社 共成建設 常務取締役



パネリスト

北 室 か ず 子 様

ノンフィクションライター
編集者



パネリスト

若 林 利 行 様

北海道校長会道北支部
宗谷ブロック長
北海道稚内高等学校 校長